

インフラを世界水準に戻す

『建設産業の再生なくして日本の再生なし』『インフラの再生なくして日本の再生なし』の二つのスローガンを掲げ、建設産業界の職域代表として国政で活躍する足立敏之参院議員（自民党）を励ます会が16日、東京都千代田区のシェーンバツハ・サボードで開かれた。集まった支援者ら約1000人を前に足立議員は、日本経済が成長していない要因にインフラ整備の遅れを挙げ、「公共投資を伸ばし、日本のインフラを世界に恥ずかしくないレベルに戻していきたい」と決意を語った。写真。



足立議員は、「世界に対面交通の高速道路はなく、日本のようにたくさんミッシングリンクがある国もない」と説明した上で、「日本の経済を再び一流にするためには、日本のインフラも

足立参院議員 支援者ら前に決意披露

一流に戻していかなければと強調し、公共投資による交通・物流インフラを立て直しが急務と指摘した。

防災・減災、国土強靱化の重要性にも言及。人件費や資材価格の上昇を考慮しながら事業量が目減りしないように、政府が今後編成する2023年度補正予算で防災・減災、国土強靱化予算を増額確保する必要があると訴え、国土交通省や財務省に求めていく姿勢を示した。

支援者を代表してあいさつした押味至一日本建設業連合会副会長・土木本部長は、被災地の迅速な調査と調査結果を踏まえた国会での積極的な質問などを通じて「さまざまな施策の着実な実現に寄与してきた」と、足立議員の政治活動をたたえ、さらなる活躍を祈念した。

来賓として、足立議員が所属する派閥・宏池会で座長を務める林芳正参院議員、宏池会事務総長の根本匠衆院議員、盛山正文部科学相、加藤鮎子女性活躍担当相、宮下一郎農林水産相、松村祥史国土強靱化担当相らが駆け付けたほか、宏池会会長の岸田文雄首相がビデオメッセージを寄せた。